

地域で考える 糖尿病性腎症

Webセミナー

19:00-19:05
開会の辞

医療法人社団 徳愛会 のぐち内科クリニック 院長
野口 雄一 先生

総合座長
医療法人社団 徳愛会 のぐち内科クリニック 院長
野口 雄一 先生

19:05-19:30
一般講演

「適材適食

～腎を守るために管理栄養士がすべきこと～

医療法人 二田哲博クリニック 管理栄養士長
小園亜由美 先生

19:30-20:15
特別講演

「ゆるやかな糖質制限

～糖尿病性腎症を見据えて～

北里大学北里研究所病院 副院長
内分泌・代謝内科部長、糖尿病センター長
山田 悟 先生

2023年 6月21日 (水) 19:00～20:15

ZOOM URL:<http://go.bayer.com/DKD0621>

ウェビナーID:963 7755 5125

※本会は Web セミナーとなります。

上記URL もしくは 二次元コードよりご登録の上ご参加ください。

ご参加登録は、講演会途中でもご実施頂けます。

※ご回答いただいた個人情報は、埼玉県糖尿病協会およびバイエル薬品が取得し、

主に本学術講演会の運営・管理および糖尿病療養指導士単位認定に使用します。

その他の利用目的については、バイエル薬品の個人情報保護方針の「個人情報の利用目的」をご参照ください。

<https://www.pharma.bayer.jp/ja/personal>

※埼玉県糖尿病療養指導士、糖尿病相談士 CDEL埼玉の単位申請をご希望の方は

登録時にCDEL認定番号、施設名、職種、氏名、メールアドレスを必ずご記入ください。

途中入退出や個人が特定できない場合は単位認定が行われない場合がありますのでご注意ください。



共催：埼玉県糖尿病協会/バイエル薬品株式会社

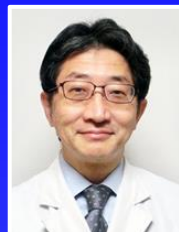
ES-247

Speaker's Comment

総合座長

医療法人社団 徳愛会 のぐち内科クリニック 院長

野口 雄一 先生



長寿社会になり、近年、70歳以降の人工透析導入増加が問題となっている。原因の多くは糖尿病性腎症の悪化と超高齢化だと考える。

これは国の経済的損失をもたらす問題でもある。一方、レガシー効果の概念から鑑みると重要なのはより若い頃からの治療の強化である。食事療法は運動療法と共に重要であるが、薬物治療と比べていささか疎かにされてきたと思われる。今回はこの分野のリーダーお2人に最新の腎臓を守る食習慣をどう指導すべきなのかお話を伺います。

一般講演

医療法人 二田哲博クリニック 管理栄養士長

小園亜由美 先生



それまで一生懸命取り組んできた糖尿病治療のための食事から、腎を守るための食事へ切り替える際に患者の多くが戸惑い、混乱し、落ち込む場面に何度も経験してきました。

身体を守るためだけでなく、誤解や恐れなど軽減し、気持ちを支えられるそんな腎を守るための食事カウンセリングとは何か。私なりに考え続けています。

特別講演

北里大学北里研究所病院 副院長
内分泌・代謝内科部長、糖尿病センター長

山田 悟 先生



欧米では糖尿病治療食といえば糖質制限食である (Diabetes Care 2019; 42: 731)。たんぱく質過剰摂取を懸念する腎臓内科医もあるが、たんぱく質摂取は腎症進行と無縁である (Diabetes care 2013; 36: 3821)。

本講演ではKDIGO (Kidney Int 2022; 102: S1) の誤謬を解説し (Diabetology 2021; 2: 51)、患者に“上手な不摂生”を楽しんでもらうべく、ゆるやかな糖質制限食を提案する。

共催：埼玉県糖尿病協会/バイエル薬品株式会社